

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社ミットヨ 呉工場・志和工場（郷原）

(2) 事業所の所在地

広島県呉市郷原町一ノ松光山10626-62

(3) 業種

2734 精密測定器製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30(2018)年度を基準年度とし、令和5年(2023)度から令和12(2030)年度までの8年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境方針

ミットヨグループは、「精密測定で社会に貢献する」を経営理念として掲げ、サステナビリティを重要な経営テーマとし、持続可能な社会を目指しています。気候変動をはじめとした地球環境課題の解決にも貢献し、社会で必要とされる会社になることをさらに追及していきます。

ミットヨ行動指針 “Mitutoyo Green Challenge“

1. 気候変動への対応

気候変動の要因である温室効果ガスの排出を削減するため、省エネ活動等を全社で推進し排出量を削減していきます。

2. 資源循環型社会の実現への貢献

有限な資源である水資源・天然資源を有効に活用し、廃棄物についても3R(reduce,reuse,recycle)を推進し排出量の削減を進めます。

3. 環境に配慮した製品・サービスの提供

全ライフサイクル(調達、製造、輸送、使用、廃棄)において環境を考慮したものづくり、サービスを提供していきます。

4. 製品・化学物質の安全確保

有害な化学物質の排出量抑制のため、代替品への変更や使用量削減を実現し、提供する製品・サービスでの安全を確保していきます。

5. 自然環境・生物多様性への配慮

豊かな生活や事業の基盤となる地球の自然環境と生物多様性を維持していくための企業として対応可能な保全活動を推進していきます。

6. 環境マネジメントシステムの構築・維持

事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を低減させるために環境マネジメントシステムを構築・維持し、環境負荷を低減していきます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成 30（ 2018 ）年度	令和 6（ 2024 ）年度
二酸化炭素	3,983	3,304

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成 （ ）年度	令和 （ ）年度
二酸化炭素	—	—

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成 （ ）年度	令和 （ ）年度
メタン	—	—
一酸化二窒素	—	—
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)	—	—

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 30 (2018) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	3,983	50.0	1,991	1,991
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		—		0
目標設定の考え方	二酸化炭素排出量を2030年までに2018年度比で50%削減する			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位置量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標 削減率 (d)	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	—	—		0.0	—	—	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	省エネルギーの推進 (地球温暖化防止)	原油換算エネルギー使用量を 生産高原単位で2024年度を基 準に2%削減する。0.768KL/百 万円以下	・ エアー漏れ対策による電力使用量の削減 ・ アイドリングストップ等エコドライブ ・ コンプレッサー時間設定による台数制御 で電気使用量の削減 ・ 本来業務による改善活動（不良数・不良 率低減対策、生産性の向上） ・ 工場内の省エネパトロール（月1回実施）
2	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量を2030年ま でに2018年度を基準に50%削減 する	・ 太陽光発電設備の導入 ・ ガソリン車からEV車への更新
3	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量を生産高原 単位で2024年度を基準に2%削 減する。316.5ton以下	・ 太陽光発電設備の導入
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

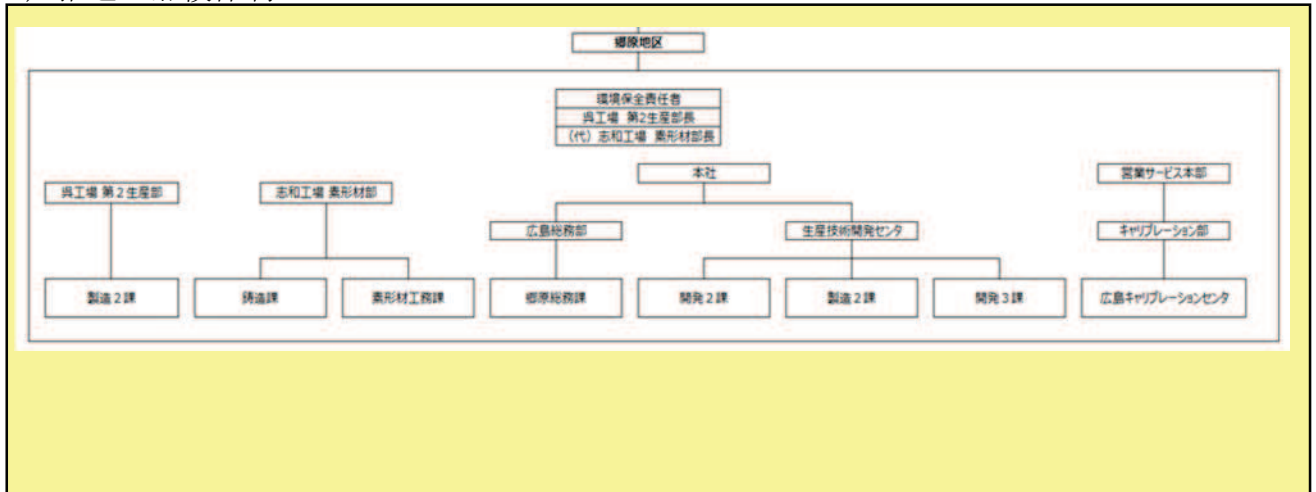
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減 (生産高原単位)	廃棄物排出量を生産高原単位 で2024年度を基準に2%削減す る 754kg/百万円以下	・ 一般廃棄物分別の徹底（古紙・段ボール の有価物化）、分別パトロールの実施 ・ 本来業務による改善活動（不良数・不良 率低減対策、生産性の向上）
2	プラスチック削減	プラスチック排出量を生産高 原単位で2024年度を基準に2% 削減する 557.8kg以下	・ パーツボックスを廃棄物から有価物へ変 更
3	水質汚濁防止	自主管理基準値超過「0」件維 持※法令より厳しい基準値を 設定	

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

- ・毎月実施の環境月次報告会でエネルギー使用量・廃棄物排出量等の実績報告
- ・環境目標実績報告書の作成(達成状況、達成未達要因の分析)

(3) 計画書等の公表

- 郷原地区→広島地区→全社環境事務局へ報告
- 郷原地区内：月次報告会での報告及び実績の掲示

